

令和7年度 四万十町

防災講演会

災害発生時、行政の支援だけでは限界があります。そこで重要になるのが、「地域住民の力」です。
今回は、人命救助や道路啓開など **支援の第一線で活動する方々** を講師にお招きし、
行政頼みの防災ではなく、**地域住民主体で進める防災の重要性** をお話しいただきます。
地域で命を守り合うために——。この機会に学んでみませんか？



ヒューマンシールド神戸 代表／（一社）OPEN JAPAN 理事
吉村 誠司氏（通称 助さん）

雲仙普賢岳噴火災害の仮設住宅支援から始まり、阪神淡路大震災では4日目に神戸市入りし長田区で初動活動。後日災害支援NGOを立ち上げ、12年間活動。東日本大震災では、翌朝には気仙沼市にて救助活動を行い、（社）OPEN JAPANを発足させる。国内外の様々な被災地支援を行い、能登半島地震では、翌日に輪島市入りして自衛隊や緊急援助隊と救助・救援活動にあたる。



災害支援 TEAM B-DASH 代表
藤丸 剛氏

高校生の時に阪神淡路大震災を経験。「災害時には水が大事」と感じ、水道関係の仕事に就く一方で、次々と発生する全国の被災地へ駆けつけている。能登半島地震では1月4日から輪島市へ入り、現在も支援活動を継続している。

2026

2.28

土 入場無料

場所

コンベンションホール きらら大正

受付

9:00 ~

P 大正診療所にも駐車可
(会場までシャトルバスで送迎)

開会

9:30 ~ セレモニー

9:40 ~ 吉村氏 講演

10:50 ~ 藤丸氏 講演

閉会

12:00 (予定)

※手話通訳あり
※託児所あり